

現在、午後10時30分。快晴。  
久しぶりの雲一つない、澄み切った青空です。

先日、本棚を整理していると見つけた、懐かしい本を最近読んでいます。その本は、私が新採初日、時の校長先生（安念校長先生）が手渡してくださった思い出深いものです。

本のタイトル「教師の生き方」で、石田成太郎氏が書かれたもの。

本の第1版発行は、昭和51年2月15日発行。

表紙カバーに、著者の言葉が載せられています。

「 一国の教育が進展するのも停滞するのも、次世代を担う児童・生徒たちがよくなるのも悪くなるのも、教師しただだといっても言いすぎではありません 」

そして、<付録 その1>には「教師十戒」が語られていました。

- 第1 教師の誇りをもつこと
- 第2 対話を多くすること
- 第3 児童から離れぬこと
- 第4 報告を忘れぬこと
- 第5 すべてに愛情をもつこと
- 第6 外部に秘密をもらさぬこと
- 第7 態度で示すこと
- 第8 学級王国にしないこと
- 第9 自主性をもつこと
- 第10 お互いに仲良くすること

教育不易論をしてしまいそうです。本当に先人の方に感謝。新採時の初心を忘れないようにしなくてはと、ハッとさせられました。